

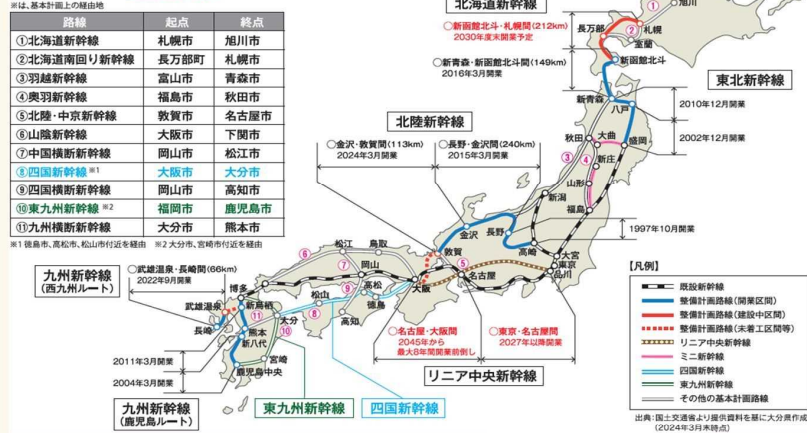
広域交通ネットワークの充実を目指して

将来的に、新幹線や高規格道路などの高速交通体系が整えば、大分県や九州地方のみならず、国内産業や国土の強靱化につながります。

全国の新幹線鉄道計画等の状況

全国で整備計画路線^{※1}の整備が進む中、「東九州新幹線」「四国新幹線」を含む11本の基本計画路線^{※2}(下図一覧)について、次なる整備計画路線への格上げに期待が高まっています。

【基本計画路線の一覧】(地図上の○数字)



九州・四国の高規格道路の進捗状況

今後さらに高規格道路の「ミッシングリンク^{※3}解消」や「4車線化」が進んでいけば、都市間の移動時間が大幅に短縮され、あらゆる人や企業等に多様なチャンスが生まれる可能性が高まります。



※1 全国新幹線鉄道整備法に基づき整備計画が策定され、整備が進められている路線〔九州新幹線(鹿児島ルート・西九州ルート)、リニア中央新幹線、北陸新幹線、東北新幹線、北海道新幹線〕
 ※2 全国新幹線鉄道整備法に基づき基本計画が定められた路線
 ※3 道路網のうち、途中で途切れている未整備区間

大分県が目指す広域交通ネットワーク (イメージ図)

広域交通ネットワーク(新幹線、高規格道路)が整えば

日本全体に大きな効果

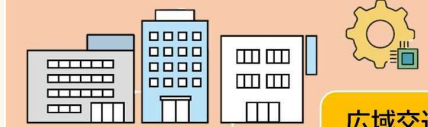
九州と本州を結ぶ陸上ルートについて、これまでの関門海峡1本のみのルートに豊予海峡ルートが加わると、国土軸のダブルネットワークが形成され、日本全体の国力強化につながります。



目指す未来像 ~広域交通ネットワークの充実による効果~

全国シェア44.6% (2022年) を占める九州の半導体生産がさらに拡大し半導体ユーザー企業が立地、集積

3本の本州四国連絡橋(しまなみ海道、瀬戸大橋、明石海峡大橋)の活用で関西・中国・四国にらくらく周遊観光



広域交通ネットワークが整うと・・・

関西や中部、関東地方の大都市圏の市場が近づき農林水産物のさらなるブランド化

南海トラフ地震等、大規模自然災害発生時の広域応援・受援が迅速・円滑に

